

事務事業名 雲南市農業担い手フォローアップ事業		所属部 農林振興部	所属課 農政課
総 計 画 体 系	政策名 (V)挑戦し活力を産みだすまち<産業>	所属G 担い手支援G	課長名 高田浩二
	施策名 (36)農業の振興	担当者名 奥田有貴	電話番号 0854-40-1051 (内線) 2413
	目的 対 象 市内の農家	予算科目 会計 款 大事業 大事業 0 1 3 0 0 1 業名 項 目 中事業 中事業 0 5 2 5 8 7 業名	農業振興事業
	基本事業名 (109)担い手の育成・確保		農業振興事業担い手フォローアップ事業補助金
目的 対 象 市内の農家	意 図 安全・安心な農畜産物を生産するとともに、農業所得が向上する。		
	意 図 農業の担い手を育成する。		

1 現状把握【DO】

(1)事業概要

① 事業期間
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 ( 年度～ )
<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 28年度～ 31年度 )
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
集落営農組織等に対し、機械等の整備に伴う経費を助成する。 補助率:1/2(補助上限額40万円) 29年度は2ヶ年の事業実施期間の、2年目であり、28年度に要望がなかった担い手や、28年度に上限額までの利用を行わなかった担い手を対象として実施した。

(2)事務事業の手段・指標

手 段	① 主な活動					
	29年度実績(29年度に行った主な活動) 対象者152名(人・団体)を対象に事業を開始し、78名(人・団体)に対して機械の導入や更新にかかる補助を行った。	30年度計画(30年度に計画する主な活動) 平成30年度、平成31年度の2ヶ年で、対象者151名(人・団体)に対して機械の導入や更新にかかる補助を29年度と同様に行う。ただし、補助上限額を広域連携組織は50万円、他の担い手は35万円とする。				
	② 活動指標	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)
	ア 農家数	戸	-	3,899	3,899	3,899
	イ					
	ウ					
	エ					

(3)事務事業の目的・指標

目 的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)
	・集落営農組織 ・認定農業者 ・新規就農者 ・農地所有適格法人 等	ア 集落営農組織	組織	-	85	89	91
		イ 認定農業者数	人	-	78	76	78
		ウ					
② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)	
対象者に対して、その経営改善に必要な機械、施設等の整備に要する費用の一部を補助することにより、農業経営の安定化を図り、地域農業の継続的な発展を目指す。	ア 農業所得総額	億円	-	▲3.4	▲3.4	▲2.0	
	イ						
	ウ						

(4)事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (29年度決算)	② コストの推移	単位	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(計画)	
H29年度実績 ・78名(人・団体) ・補助対象事業費 114,857千円 ・補助金交付実績 26,423千円	財 源 内 訳	国庫支出金	千円				
		県支出金	千円				
		地方債	千円		9,200	11,000	
		その他	千円				
		一般財源	千円		18,422	15,423	22,500
		事業費計(A)	千円		27,622	26,423	22,500
		正規職員従事人数	人		1	1	
	延べ業務時間	時間		270	370		
	人件費計(B)	千円		1,071	1,508		
	トータルコスト(A)+(B)	千円		28,693	27,931		

(5)事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
近年の農産物価格の低迷、飼料・農薬・機械等の高騰などにより、農業所得の減少や過疎化・高齢化が進んでいる。今後集落を維持するためにも農地を守る担い手への支援や、地域全域をカバーする広域連携組織の育成が重要になってくると考えられる。	29年度現在、市内では3組織の広域連携組織が結成されている。広域連携組織は単独の農業法人で行うことが難しい取組みや後継者対策を行う側面を有するため、他の担い手よりも大規模かつ柔軟な活動支援が必要と考えられる。	補助制度が拡充され助かるという意見がある一方、機械等の整備には補助額が少ないとの声がある。 農地を守る意向が強くなっている面もあり、積極的に農家へ支援を行って欲しいとの声も強い。また、汎用性の高い物品にも対応してほしいという意見もあった。

事務事業名	雲南市農業担い手フォローアップ事業	所属部	農林振興部	所属課	農政課
-------	-------------------	-----	-------	-----	-----

## 2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性	この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？	見直し余地があるとする理由
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	* 余地がある場合 →
	② 公共関与の妥当性	なぜこの事業を市が行わなければならないのか？ 税金を投入して達成する目的か？	
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	* 余地がある場合 →	
③ 対象・意図の妥当性	対象を限定・追加する必要はないか？ 意図を限定・拡充する必要はないか？		
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	* 余地がある場合 →	
B 有効性	④ 成果の向上余地	成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？	
	<input type="checkbox"/> 向上余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない	理由 認定農業者、新規就農者、集落営農組織等のいわゆる担い手を対象に事業を行い、新たな集落営農組織も増え成果は上がっており、これ以上の向上余地はない。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	
<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有	理由 本事業により担い手の育成確保、耕作放棄地の解消等が図られており、廃止による影響はある。	
⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？		
<input type="checkbox"/> 他に手段がある	* ある場合 → (具体的な手段や類似事業名)	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる	
<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない		<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない	理由 他に類似事業がない。
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地	成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 1件当りの補助額としては多い額ではなく、これ以上の削減は出来ない。
D 公平性	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 補助金交付システムを作成し極力業務時間の短縮を図っており、これ以上の削減の見込みはない。
⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由 市内の担い手を対象に事業実施しており、受益機会は公平である。また、受益者にも1/2以上の負担を求めており公正であると考える。	

評価 の 総括	① 1次評価者としての評価結果	② 1次評価結果の総括(根拠と理由)	
	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	市の農業の担い手の経営規模の維持向上及び所得向上を目指す事業であり、市としても積極的に支援すべきであると考える。
	B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
	C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		

## 3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果																					
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		●	×																		
	低下		×	×																		
<p>・平成30年度より、広域連携組織の補助上限額は50万円、他の担い手の補助上限額は35万円とする。</p>	<p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>																					